

## 県立病院事業評価委員会からの評価・提言内容

平成28年 2月 15日

県立病院事業評価委員会

委員から出された評価・提言の概要は次のとおりです。

### 1 宮崎県病院事業経営計画2015の概要について（資料1 関係）

- 取組の一つに「医療相談体制の強化」とあるが、そのためには医療ソーシャルワーカーの役割が重要である。他県では、医療ソーシャルワーカーを正規職員で配置している例もあるので、本県でも検討してほしい。
- 計画において各病院の取組方針などが定めてあるが、現場スタッフの一人一人がどう考えているかが大切である。各病棟の看護師長が要になると思う。

### 2 平成27年度県立病院事業の状況について（資料2 関係）

- 医療スタッフの確保では、（医学生や看護学生の）見学バスツアーを実施するなどよく努力されている。また、看護師の育児休業の欠員補充のために正規看護師を定数以上に確保しており評価したい。
- 県内で養成した看護師は、できるだけ県内に残ってもらえるよう県でも取組をお願いしたい。
- 日南病院に設置された地域包括ケア病棟について地域の人にはよく知らないので、丁寧な説明をお願いしたい。あわせて、地域との連携がスムーズに行くよう大学病院の連携科のような仕組みもお願いしたい。
- 県北には大きな病院が延岡病院しかないので、延岡病院の医師確保の問題を市民は心配している。高速道路も開通したので、宮崎から週に何回かでも延岡病院に来てもらえるような優遇措置を考えてはどうか。
- 医療と介護は切り離せない関係にあり、医療がいくら良くても介護が良くなければ、患者や家族の満足度は上がらない。高齢者の場合、病気は治ったが介護が必要になったということもある。治療が終わった後、退院後の行き先がないということがないよう介護との連携をしっかりとってほしい。

### 3 県立宮崎病院再整備の進捗状況について（資料3 関係）

- 新しい病院は、病室までの動線が短く見通しがよいなど、看護師にとっても患者にとっても非常によいと思われる。
- 近年は入院期間が短くなってきているので、浴室は、浴槽よりもシャワーのほうが、患者にとっては使い勝手がよいと思う。

### 4 来年度当初予算案の概要について（資料4 関係）

- 予算に計上した収益の額は努力目標のようだが、実際に執行する際は、収益がどの程度になるという見込みをしっかりとっておく必要がある。
- 臨床研修医確保に係る新規事業「学会等派遣支援」だが、研修医が学会に参加しないのは、経済的な問題以外ではカリキュラムが密で時間がないということも聞く。ACLS（心肺蘇生法）等様々なコースをリストアップして皆が受けられるようにしたらよいと思う。
- 4月から診療報酬が改定され、7対1の「重症度、医療・看護必要度」の基準が25%に引き上げられるので、新基準をクリアできるよう対応が必要である。